

Press Release

2005年9月2日

各位

大日本インキ化学工業株式会社

共押出多層フィルムの値上げについて

大日本インキ化学工業株式会社（本社：東京中央区、社長：小江紘司）は、共押出多層フィルム（商品名：DIFAREN）について、9月21日出荷分より、1連（500平方メートル）あたり300円（20ミクロン換算）の値上げを行うことを決定しました。

同フィルム事業を取り巻く環境は、かねてからの原油・ナフサなどの高騰により、原料のポリプロピレンが数次にわたり値上がりしています。加えて、ポリプロピレンは中国での需要の拡大に対し、メーカーはフル稼働中で増産の余地がないことから、需給バランスはさらに悪化しています。このような中、当社は製品の安定供給を果たすため、原料を確保すべく、やむなく原料の値上げを受け入れてきましたが、その結果、同フィルム事業の採算性は一段と圧迫されています。

当社はこれまで、原料の値上がりにもなうコストアップ分を吸収するため、効率化、省エネ、物流合理化などに全力で取り組んできましたが、すでに自助努力による吸収は限界に達していると判断し、今回の値上げを決定したものです。

以上